

# 公認アスレティックトレーナー (JSPPO-AT)資格更新要件改定の 概要

公益財団法人日本スポーツ協会  
令和7年3月31日付

# 目次

1. 資格更新要件改定内容の概要
2. カテゴリー別表
3. 単位取得のモデルケース
4. 導入期日・適用時期

# 資格更新要件改定の概要

研修会への参加実績やJSPO-ATとしての活動実績を単位として算出し、合計10単位以上を取得することでJSPO-AT資格を更新できる仕組みになります。また、BLS資格の保持を確認するタイミングも変わります。

◎資格有効期間は4年間で、有効期限の6か月前までに更新要件1・2を満たす必要がある。

	現行	改定後
要件1 必要単位の取得	<p>以下のいずれかの更新研修を受講する。</p> <p>A.1回の参加で資格更新の要件を満たす研修会 (アスレティックトレーニング学会等)</p> <p>B.2回の参加で資格更新の要件を満たす研修会 (都道府県アスレティックトレーナー協議会主催研修会等)</p>	<p>研修や活動実績に関する11カテゴリから選択し、必須単位を含む合計10単位以上を取得する。</p> <p><b>Point</b> 1回の参加で更新要件を満たすことはできないが、研修会参加以外のアスレティックトレーナーとしての活動実績や学校等での教育実績を単位として申請できるようになる。</p>
要件2 BLS資格の保持	<p>更新研修の受付時 (または出席確認カード提出時)に BLS資格の修了証または認定証を提出する。</p>	<p>資格更新時(10月1日または4月1日)に有効な修了証または認定証を指導者マイページから提出することで必須単位の1つであるカテゴリAの単位を取得する。</p> <p><b>Point</b> 研修会参加時ではなく更新時に有効であることが求められる。</p>

# カテゴリー別表

## (1) 更新研修への参加

カテゴリー	内容	単位数			単位換算方法	単位申請	
		上限/1 周期		必須			
		一般	専任教員				
A	JSPO が認める一次救命処置(BLS)資格講習会	2 単位	2 単位	1 単位	1 単位/1 回	本人	
B	インテグリティ研修	1 単位	1 単位	1 単位	1 単位/1 回	JSPO	
C	JSPO が認める国内での研修	-	-	2 単位	学術団体主催の学会等	1 単位/1 日, 2 単位/2 日以上	本人
					都道府県 AT 協議会等主催の研修会	1 単位/2 時間以上	団体
					アスレティックトレーニング関連団体主催の研修会	1 単位/2 時間以上	団体
					JSPO 公認スポーツ指導者対象の更新研修	1 単位/2 時間以上	団体
D	JSPO が認める国外での研修	5 単位	10 単位	ト	1 単位/1 大会	本人	
E	各種セミナー	1 単位	2 単位	-	1 単位/2 時間以上	本人	
F	教授法に関する講習	1 単位	4 単位	1 単位 (専任教員のみ)	1 単位/1 回	JSPO	

# カテゴリー別表

## (2) JSP0-AT としての活動実績

カテゴリー	内容	単位数		必須	単位換算方法	単位申請	
		上限/1 周期					
		一般	専任教員				
G	スポーツ現場における JSP0-AT としての活動	3 単位	3 単位	-	1 単位/1 日 3 時間以上の活動時間を有する日が 1 年間で 100 日以上	本人	
H	アスレティックトレーニング学関連領域に関わる学術・研究活動	3 単位	4 単位	-	研究発表（口頭・ポスター）*1	2 単位/筆頭者のみ・1 演題 1 単位/筆頭者以外・1 演題	本人
					論文執筆（原著・資料・総説・実践報告・事例報告）*1	3 単位/原著論文・筆頭者のみ・1 論文 2 単位/原著論文以外・筆頭者のみ・1 論文 1 単位/筆頭者以外・1 論文	本人
					専門書籍の執筆等の作成*2	1 単位/1 回	本人
					学会等における演者・シンポジスト	1 単位/1 回	本人
I	研修会等での教育活動	3 単位	6 単位	-	上記 A~F の各種セミナーの講師	1 単位/1 講演	本人
J	AT 免除適応コース承認校が実施する JSP0-AT の教育活動	3 単位	3 単位	-	AT 現場実習指導者としての活動	1 単位/受入人数に関係なく年間 50 時間以上	学校
					AT 実技確認テストにおける検定員・プレーヤー役としての活動	1 単位/1 年間で 1 日以上	学校
					AT 免除適応コース承認校における AT 専門科目カリキュラムの講師	1 単位/1 半期(上期/下期) ※科目数に関わらない	学校
K	JSP0 が実施する JSP0-AT の教育活動	4 単位	4 単位	-	JSP0-AT 養成講習会の講師	1 単位/1 講習会	JSP0
					AT 現場実習指導者説明会の参加	1 単位/1 回 ※1 回限り	JSP0
					実技確認テスト検定員説明会の参加	1 単位/1 回 ※1 回限り	JSP0

\*1 単著又は共著に含まれている者とする。

\*2 本人が執筆、監修、翻訳、監訳や発表を行ったことを証明する資料のコピー（書籍の場合は書籍名と執筆者、監修者、翻訳者、監訳者が確認できるページと目次のコピー）を提出する。雑誌および月刊誌の連載等は含まない。

# 単位取得のモデルケース①

	該当カテゴリー	具体的な実績	単位数
A	JSPOが認める一次救命処置(BLS)資格講習会	日本赤十字社救急員養成講習を受講し、赤十字救急法救急員を取得	1単位
B	インテグリティ研修	公認スポーツ指導者全員に義務付けるインテグリティに関する研修に参加	1単位
C	JSPOが認める国内での研修のうち「学術団体主催の学会等」	アスレティックトレーニング学会に2日間参加	2単位
C	JSPOが認める国内での研修のうち「学術団体主催の学会等」	臨床スポーツ医学会に2日間参加	2単位
C	JSPOが認める国内での研修のうち「都道府県AT協議会等主催の研修会」	〇〇県アスレティックトレーナー協議会主催の研修会に参加	1単位
C	JSPOが認める国内での研修のうち「都道府県AT協議会等主催の研修会」	〇〇ブロック主催の研修会に参加	1単位
E	各種セミナー	コンディショニングに関するセミナーに参加	1単位
G	スポーツ現場におけるJSPO-ATとしての活動	日々の〇〇チームへの帯同、〇〇大会救護担当実績の報告	1単位

**10単位**

# 単位取得のモデルケース②(専任教員の場合)

該当カテゴリ		具体的な実績	単位数
A	JSPOが認める一次救命処置(BLS)資格講習会	日本赤十字社基礎講習を受講し、赤十字ベーシックライフサポーター認定証を取得	1単位
B	インテグリティ研修	公認スポーツ指導者全員に義務付けるインテグリティに関する研修に参加	1単位
C	JSPOが認める国内での研修のうち「学術団体主催の学会等」	アスレティックトレーニング学会に2日間参加	2単位
C	JSPOが認める国内での研修のうち「学術団体主催の学会等」	臨床スポーツ医学会に2日間参加	2単位
C	JSPOが認める国内での研修のうち「都道府県AT協議会等主催の研修会」	〇〇ブロック主催の研修会に参加	1単位
C	JSPOが認める国内での研修のうち「都道府県AT協議会等主催の研修会」	〇〇県アスレティックトレーナー協議会主催の研修会に参加	1単位
C	JSPOが認める国内での研修のうち「都道府県AT協議会等主催の研修会」	〇〇県アスレティックトレーナー協議会主催の研修会に参加	1単位
D	JSPOが認める国外での研修	WFATTが主催するコンGRESに参加	1単位
E	各種セミナー	コンディショニングに関するセミナーに参加	1単位
F	教授法に関する講習	コーチデベロッパー養成講習会に参加	1単位
G	スポーツ現場におけるJSPO-ATとしての活動	〇〇クラブで1日3時間以上JSPO-ATとして活動する日が1年間で100日以上	1単位
G	スポーツ現場におけるJSPO-ATとしての活動	△△クリニック併設のトレーニングルームで1日3時間以上JSPO-ATとして活動する日が1年間で100日以上	1単位
H	アスレティックトレーナー学関連領域に関わる学術・研究活動のうち「研究発表」	アスレティックトレーニング学会でポスター発表	1単位
H	アスレティックトレーナー学関連領域に関わる学術・研究活動のうち「論文執筆」	アスレティックトレーナー学に関する書籍を執筆	1単位
I	研修会等での教育活動	スポーツ現場における熱中症対策セミナーに講師として参加	1単位
I	研修会等での教育活動	脳震盪とトレーニングに関するオンラインセミナーを主催	1単位
J	AT免除適応コース承認校が実施するJSPO-ATの教育活動	〇〇専門学校で実施される実技確認テストにプレーヤー役として参加	1単位
K	JSPOが実施するJSPO-ATの教育活動	アスレティックトレーナー現場実習指導者説明会に参加	1単位

# 導入期日・適用時期

**導入期日** 2026年4月1日

- 2026年4月1日時点で4年間の資格有効期間を有する場合(パターン1)、2026年4月1日から新要件を適用する。
- 2026年4月1日時点で4年未満の資格有効期間の場合(パターン2~8)、次の更新登録時までには旧要件を適用する。その際、BLS資格は研修会参加時ではなく更新登録時に有効なBLSを別途提出する。

## 新要件適用時期

注)旧要件と新要件のハイブリッドはできません。

2026年4月1日~新要件適用

